

水戸大神楽 総本家 家元 柳貴家 勝蔵 社中

代表者	15代家元 柳貴家 勝蔵
所在地	〒310-0033 茨城県水戸市常磐町2丁目13-23
設立年月日	江戸時代
URL	http://www.mitodaikagura.co.jp/

【設立趣旨】

大神楽とは、神社に御参りに来られない氏子や信者の為に、神官が獅子舞いを連れて氏子や信者の家々を御祓いして廻ったのが始まりです。水戸大神楽は、江戸時代より脈々と続き、昭和初期には、十二代目家元宮内数太夫（宮内最後の家元）の後を一番弟子の磯乃家嘉之助（鴨川嘉之助）が継承しました。その後は実子である磯乃家勝太夫に譲り、そして現在は、柳貴家勝蔵が十五代目家元を継承しています。



水戸大神楽総本家家元 柳貴家勝蔵

【活動内容】

主に、氏子の方々の無事息災、家運繁栄などの幸福を願い、一軒一軒氏子の家々を御祓い廻りしております。また、おめでたい席などに御呼ばれして楽しい芸を皆様の前でお披露目したりしております。毎年、テレビ各局に出演、その他国立劇場出演など輝かしい実績が認められ、茨城県無形民俗文化財の指定を受けております。近年では、世界各国よりの出演依頼も多く、あの有名なルーブル美術館やワシントンのアメリカ国立美術館においても公演し、好評を博しました。



氏子の家々お祓い廻り風景

【沿革】

その始まりは、伊勢派・熱田派、などの大神楽が有名ですが、その他にも恵比寿（恵比須）様（西ノ宮）や大黒様を御祭神にした流派がありました。今日では、家内安全・開運招福などの厄祓いとして親しまれており、おめでたい席などに御呼ばれして楽しい芸を皆様の前でお披露目したりしております。正月番組のスターかくし芸大会では、タレントの皆様にも曲芸の指導等もしています。そして皆様ご存知の「おめでとうございます！」が一年を通しての水戸大神楽の挨拶なのです。



氏子の家々お祓い廻り風景



氏子の家々お祓い廻り風景

【活動上の課題と今後の展望】

大神楽は庶民とともに歩み、無事息災、家運繁栄などの幸運を願うものです。私は庶民とともに生き続ける民俗芸能として水戸大神楽のすばらしさを伝承していきたいと思っております。

私に大神楽の将来を託した先代親方たちのためにも、三百有余年の歴史をもつ水戸藩徳川家御用神楽の継承者として、伝統の護持、発展、継承は、私の人生を賭けての使命として頑張る所存であります。

【活動目的】

不易流行・・・江戸時代から明治時代・大正時代・昭和の時代を経て、平成時代の柳貴家勝蔵へと、水戸大神楽の「芸能」「芸統」「芸格」は変わらずに受け継がれ、守っております。



氏子の家々お祓い廻り風景